

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2012-69888(P2012-69888A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2010-215621(P2010-215621)

【国際特許分類】

H 01 G 5/013 (2006.01)

G 06 F 3/044 (2006.01)

【F I】

H 01 G 5/22

G 06 F 3/044 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

誘電体15aは、互いに対向する第1の面部15a1、第2の面部15a2を有する円柱状に形成されたものである。この実施の形態において、誘電体15aは、例えば、外径が2.95mm、厚みが1mm、容量が例えば160pF(誘電率4000F/m)のものである。ここで、単位mmはミリメートル、単位pFはピコファラッド、単位F/mはメートル毎ファラッドを意味している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0106

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0106】

次に、処理部114は、送信した電波と受信した電波の位相差に応じた信号のレベルから筆圧を検出する(ステップS11)。以下、位置指示器2が有効読取り高さ内にあり続ける限り、処理部114は、ステップS6～S11の処理を繰り返し、有効読取り高さ内にないと判定した場合にステップS1の処理に復帰する。